



▲ニセアカシアの白い花

ニセアカシアは、明治のころから、街路樹として植えられた代表的な樹木であり、多くの場所で見ることができま  
す。  
そのニセアカシアが詩人北原白秋の詩に歌われていることとはご存じかと思えます。  
大正十四年八月、北原白秋が札幌に滞在し、北一条通のニセアカシア並木を歩いたとき、代表作の一つ「この道」を歌ったそうです。  
ニセアカシアの白い花は、六月中旬ごろに咲くため、訪れたときは、すでに散ってはいたはず。しかし、若々しく緑の葉を茂らせた並木が白い花を想像させたのかもしれない。

詩に歌われた街路樹

「この道」

この道はいつか来た道、  
ああ、そうだよ、  
あかしやの花が咲いてる。  
あの丘はいつか見た丘、  
ああ、そうだよ、  
ほら、白い時計台だよ。  
この道はいつか来た道、  
ああ、そうだよ、  
お母さまと馬車で行ったよ。  
あの雲はいつか見た雲、  
ああ、そうだよ、  
山査子の枝も垂れてる。

みんなの花が咲く街路樹

街路樹の中には美しい花を咲かせる木もあり、わたしたちの目を楽しませてくれます。六月に入り、きれいに花を咲かせる樹木をいくつか紹介します。  
▼ハクウンボク（ハビロ）  
白い花をつけた様子が白い雲のようなので、白雲木とい  
います。花は、六月初めに開  
花し、緑色の果実は穂をなし



ハクウンボク (ハビロ)

て垂れ下がります。（主な路線〓北五条通西一〓一九丁目）  
▼トチノキ（ベニバナトチノキ）  
小花が円錐状に固まって咲く特徴のある樹木で、六月に花が咲きます。  
札幌オリンピック（昭和四十七年開催）の後、札幌駅前通などに街路樹として植えられました。（主な路線〓北四条通西二〇〓二一丁目）  
◆◆◆  
その他にも、春から夏にかけてきれいな花をつける木や、四季の移ろいを感じさせる木などさまざまな街路樹があります。自分だけのお気に入りの道を探してみたいか  
がでしょうか。

皆さんのご理解をお願いします

美しい景観や大気浄化などの役割を果たす街路樹ですが、毎年、秋になると街路樹からの落葉で、「家の前の落ち葉を片付けてほしい」、「落ち葉の始末がやっかいなので、街路樹が近くにあると困る」といった声が市に多く寄せられます。

街路樹は地域に彩りを添え、わたしたちの暮らしを守り続けている地域全体の財産です。

貴重な地域の財産をみんなで守るためにも、ご自宅の落ち葉については、皆さんで処理して下さるようご理解、ご協力をお願いします。



問い合わせ先  
中央土木センター（維持管理課） ☎614-5800  
みどりの推進部みどりの保全担当課 ☎211-2536



トチノキ (ベニバナトチノキ)